

地域での取り組み【2020年度の状況】

買い物行こカー

店舗への送迎車

「買い物行こカー」は、2016年度に始まりました。現在、**21台 23店舗**まで広がり、年間での**べ7万349人**が利用しています。

高齢者の悩みは「いつまでも安心して暮らしていきたい」これに生協が積極的に関わってほしい。

買い物行こカーや、移動店舗がもっと必要とされる時代がくる。広げてほしい。



「移動店舗」は、都市部でも必要になっている。

この地域ではスーパーがなく、買い物に困難な人が多い。



移動店舗

「移動店舗」は、都市部でも買い物に不便を感じている方々がもっと利用できるように、軽四車両を導入するなど、改善に取り組んでいます。現在、**9台 518カ所**、年間での**べ13万4435人**が利用しています。



体力がなくなっており、台所仕事も少し減る取り組みがあると良い。

まいくる

栄養バランスに配慮した夕食弁当をお届け

「まいくる」は、メニューの充実や、冷凍おかず(冷凍まいくる)のおすすめなど、組合員のくらしに寄り添って、改善に取り組んでいます。現在、**1日 9049食**の利用があります。

コミュニティ食堂

子ども食堂

地域と連携して運営する、「コミュニティ食堂」や「子ども食堂」が広がっています。現在、**39カ所**で運営しています。(休止中含む)

地域の方々と「より良い広場」のような場で、一緒に食事ができるといい。



お互いに参加するという意識で、「これなら私もできるのでは」と思える場を作りたい。

困っている人の声と、助けたいと思っている人と結びつける仕組みづくりを。

買い物支援ボランティア

組合員が、組合員の買い物のお手伝い

「買い物支援ボランティア」は、2016年度に始まりました。現在、**19の店舗**で取り組んでいます。(休止中含む)

店が近くになく、宅配は命綱。宅配がなくなったら生活できない。



地域めーむひろば

店舗以外の場所で、宅配商品の受け渡し

地域の企業の事業所などで、商品の受け渡しをする「地域めーむひろば」は、2018年度に始まりました。現在、**24カ所**に広がっています。

つながるマルシェ

販売機会の減った福祉事業所を応援するため、2020年度に「つながるマルシェ」を**34店舗**で実施。マルシェには、**のべ100以上の事業所**が出品して、授産品(パンや焼き菓子、手芸品、雑貨等)を販売しました。



つながりや、つどえる場を生協が作り出すことで、地域づくりに発展していくと感じる。

地域の居場所・つどい場

「ふれあい喫茶」など、コープサークルが運営する「つどい場」づくりの取り組みが進んでいます。「ふれあい喫茶」は現在、**約85カ所**に広がっています。(休止中含む)
「居場所・つどい場立ち上げ支援助成制度」は、2016年度に始まりました。2020年度は、**18カ所**立ち上がりました。

マイバグ運動が定着したように、社会的意義のある活動を。



「食品ロス」の問題は、生協が率先して取り組むべき。

フードドライブ

家庭で余った食料品を持ち寄って、フードバンクや子ども食堂などに提供する「フードドライブ」は、2017年度に始まりました。

集まった食料品は現在、地域の**167の**さまざまな団体に提供しています。

お米を贈ろう 助け合い募金

コロナ影響で広がる社会不安を少しでも和らげたいと願い、2021年3月に集中募金を実施。募金でお米を調達し、地域の福祉団体等に提供。困窮者支援に役立てています。

健康寿命を延ばすよう社会全体で取り組みを推進しなげれ。

健康づくり

兵庫県生協連や医療生協など、地域の協同組合と連携し、健康づくりに向けた取り組みの習慣化をめざす、「健康チャレンジ」が、2018年度から始まりました。2020年度は、**3507人**が参加しました。

コミュニティの再生のために、地域のメンバーとして、参加を求められている。

地域ねっとわーく 連絡会

地域との連携を強める、「地域ねっとわーく連絡会」は、行政や社会福祉協議会、地域の活動者への参加を呼びかけています。現在、**約4割の会場に、地域の諸団体が参加**。生協や地域のことなど、さまざまなテーマで話を進めています。

地域コーディネーター

地区よりさらに小さい単位で、よりきめ細やかに地域連携と組合員参加の促進に取り組む、「地域コーディネーター」は、2018年度に始まりました。現在、**4人の「地域コーディネーター」が、地域で活動**しています。

コープこうべの活動区域

37市 15町 3区



2021年3月末現在

各地区でひろがるホットな
地域との連携事例を
定期的にお伝えしていきます♪

第7地区・KC 姫路 神河町「ひと花」 協同購入配達 出発式 ～買い物支援をきっかけとした地域のつながり～



▶「ひと花」出発式



事業所利用者さん 決意表明!

きっかけは、2年前に神崎郡神河町で開催された、地域ねっとわーく連絡会（現：地域つながるミーティング）。

町全体のくらしの課題として「買い物の困りごと」という声が上がりました。一方、町社協が運営する障害者多機能型事業所「ひと花」は、通所する利用者が地域とつながって働ける場を広げようと模索されていました。町社協の働きかけから、「ひと花」と「コープこうべ」で一緒にできることを約1年間協議し、今回の取り組み実現に至りました。

1月20日に実施された出発式では、事業所利用者さんたちが、拳をつきあげ（左上写真）「頑張ります!」と決意を表明。その後、事業所に届いた商品をみんなで車に積み込み、笑顔で配達に出発していかれました。

高齢者の見守りとコミュニケーション、買い物支援、障がい者の地域貢献と就労支援につながる取り組みは、他の地域でも求められており、今後のさらなる広がりが期待されます。



商品を車に積み込み♪



■2022.01.20 @神河町社会福祉協議会 障害者多機能型事業所「ひと花」

■「ひと花」利用者による見守りを兼ねた商品配達がスタート

■配達の仕組み

- ① KC 姫路から「ひと花」に協同購入グループ（配達料無料）として商品を搬入
- ② 「ひと花」利用者が個配（サービス手数料200円）として組合員宅へ配達
- ③ サービス手数料は「ひと花」へ

第3地区 & 第6地区 コープ朝霧 「フードドライブ」ならぬ「カレンダードライブ」 ～カレンダーによる地域とのつながり～

■2022.01.06

第3地区本部より「国際交流シェアハウスやどかり」さんへ、カレンダーを寄贈

■2022.01.07

コープ朝霧より「NPO 法人ひまわり」さんへ、カレンダーを寄贈

住吉事務所や各所属から集まったカレンダーは、500部を超えました。集まったカレンダーは、主に高齢者を対象に、活動されている地域団体を通じて、高齢者へ届けられます。食糧支援に続くつながりを作る「カレンダードライブ」。次年度は、寄贈によるつながりの輪の拡大をめざして、各地区や各所属での更なる広がりが期待されています。

たくさんのご協力、ありがとうございました♪



第3地区から寄贈♪



コープ朝霧から寄贈♪

第1地区 宝塚市と「地域包括連携協定」を締結 ～協定をきっかけにした地域連携強化～

■2022.01.25 宝塚市と「地域包括連携協定」を締結

■同協定締結は5市目

- ・2019.05 尼崎市
- ・2019.07 芦屋市
- ・2020.10 明石市
- ・2021.10 加古川市

宝塚市とはこれまで4つの協定（「高齢者見守りに関する協定」等）を結んできましたが、今回新たに「地域包括連携協定」を締結しました。行政とのパートナーシップ強化で、これまで以上に地域連携を推進していきます。

なお第1地区では現在、地域の活動者と連携し、宝塚市内（鶴の荘）に新たな「つどい場」づくりを進めています。開所は2022年4月頃の予定です。乞うご期待。



協定締結の様子♪

※写真左から順に
黒木マネージャー、前田本部長（共に第1地区）
高岡センター長（KC宝塚）、平井店長（Cめふ）
本田組合員理事、山崎市長、吉田企画経営部長（宝塚市）

大阪北地区・コープ茨木白川 先進事例から学ぶ！つどい場見学会 ～コープのつどい場ってどんなところ？～



C名谷・藤原店長からお話しを聞く
C茨木白川・二宮店長♪

店内の空きスペースを「つどい場」として活用できないかと思っていた矢先、地域の方からも同様の相談を受けた二宮店長。「つどい場」ってなんとなく知っているけど詳しくは知らない。まずは自分の目で見て学ぶことから!と、4つのつどい場を見学されました。

自店での「つどい場」実現に向け、今回の「学び」をきっかけに、今後は地域とのつながりづくりに注力されます。

■2022.01.18

- つどい場4か所を見学
- ・大庄元気むら
- ・みなくる☆そのだ（C園田）
- ・すま居る名谷（C名谷）
- ・はじまりのテラス（CD神戸西）

■メンバー

- コープ茨木白川 二宮店長
- 大阪北地区本部 渋谷さん
- 地域連携推進室 宮本さん
- 〃 中塚さん

※所属は当時